



【当初予算】  
資料 1

# 令和4年度 当初予算案のポイント

コロナへの万全な対応と豊かな  
田園都市の実現に向けた着実な一歩

滋賀県守山市



# 当初予算案の規模

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度	増減額	対前年度比率	参考：令和2年度 (過去最大予算)
予算総額	54,590,046	49,603,528	4,986,518	10.1%	54,674,963
内 訳	一般会計	28,800,000	5,180,000	18.0%	34,180,000
	通常事業	27,269,757	1,485,448	5.4%	26,280,383
	大規模事業	1,419,298	3,273,194	230.6%	7,899,617
	コロナ対策	110,945	421,358	379.8%	0
	特別会計	13,530,500	53,200	0.4%	13,500,800
	公営企業会計	7,273,028	▲ 246,682	▲ 3.4%	6,994,163

※公営企業は、収益的収支と資本的収支の合計です。

■ 国の補正により前倒して実施する3月補正（北部図書機能・コミュニティ機能整備事業、伊勢遺跡整備事業など）と合わせた場合の予算規模

**当初：339.8億円 + 3月補正分：約8.9億円 ⇒ 約348.7億円**

大規模事業46.9億円の事業 新庁舎整備事業（45.9億円）、すこやかセンター大規模改修事業（0.8億円）、環境センター解体事業（0.2億円）



## 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種の継続

新型コロナウイルスワクチン接種事業を継続して実施し、5歳から11歳までの小児接種や3回目の追加により、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防し、まん延の防止を図ります。また、新型コロナウイルス感染症対策事業を継続し、感染症予防と経済活動の両立を図ります。

## 自治体DXの徹底的な推進とICT化の促進

守山市版DX推進方針に基づき、令和5年9月に供用開始となる新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でのDX（業務プロセスの再構築、など）に取り組むとともに、国が進めるオンライン化や標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

👉 次の4つの重点施策の柱に基づく施策を展開し、豊かな田園都市を目指した基盤づくりを行います。

## I 安心な子育て環境・教育の充実と次世代育成の推進

子どもの通院費医療費助成を小学校6年生まで拡充するなど子育て支援の充実を進める中、保健・福祉・教育が横断的に連携した施策に取り組むとともに、自校方式を活かした中学校給食の全校実施や返還免除型奨学金の創設を行い学校教育の充実に取り組みます。

- ①子どもの医療費助成の拡充（小3まで→小6まで）
- ②待機児童対策等の継続（保育士等処遇改善市独自加算、玉津児童クラブ室増築整備等）
- ③自校方式による全中学校での給食開始（R4.9月開始）  
⇒県内13市のうち自校方式による全校実施は本市のみ
- ④教育支援体制の充実（返還免除型奨学金の創設（1人月3万円、最大15人対象）等）

ポイント

## Ⅱ 高齢者・障害者等が安心して生活できる環境の充実

地域共生社会を実現するため、世代や属性を超えた包括的支援体制を構築して、高齢者・障害者・生活困窮者等の支援の充実を図るとともに、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画やもりやま障害福祉プランに基づいた事業を実施していきます。

- ①重層的支援体制の充実 ②子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨およびがん患者等への支援
- ③介護施策の充実（認知症高齢者等個人賠償責任保険事業等）
- ④介護施設の充実（小規模多機能型居宅介護施設の整備等）
- ⑤障害者支援の充実（放課後等デイサービス事業給付、障害者施設の新設支援等）

ポイント

## Ⅲ 「豊かな田園都市」を目指したまちづくり

市制施行50周年を契機とし、次の50年先を目指すまちの姿「豊かな田園都市」に向けた事業の推進、市民活動の支援のための新たな枠組みの創設や、環境学習都市宣言の具現化などの実施により持続可能なまちづくりを進めます。

- ①ふるさと納税を活用した豊かな市民活動応援事業
- ②文化・スポーツの推進（北部図書機能・コミュニティ機能整備、外遊び・市内ウォーキングマップ作成等）
- ③環境学習都市宣言の具現化 ④地域交通の充実 ⑤起業・創業支援
- ⑥JR 守山駅東口における新施設整備 ⑦市内産業への支援

ポイント

## Ⅳ コロナへの万全な対応と信頼される市政運営

新型コロナウイルス感染症対策について継続して行います。また、「自助・共助・公助」の連携による災害に強いまちづくりを進め、地域防災の要である消防団員の処遇改善を行います。また、新庁舎整備事業についても災害に強く市民の安全・安心を支える庁舎となるよう令和5年供用開始に向け事業を着実に進め、市民から信頼される市政運営を行っていきます。

- ①防災体制の充実強化（消防団員処遇改善（団長等5,000円、団員8,000円の増額）等）
- ②新庁舎整備事業（新庁舎「つなぐ、守の舎」の整備）

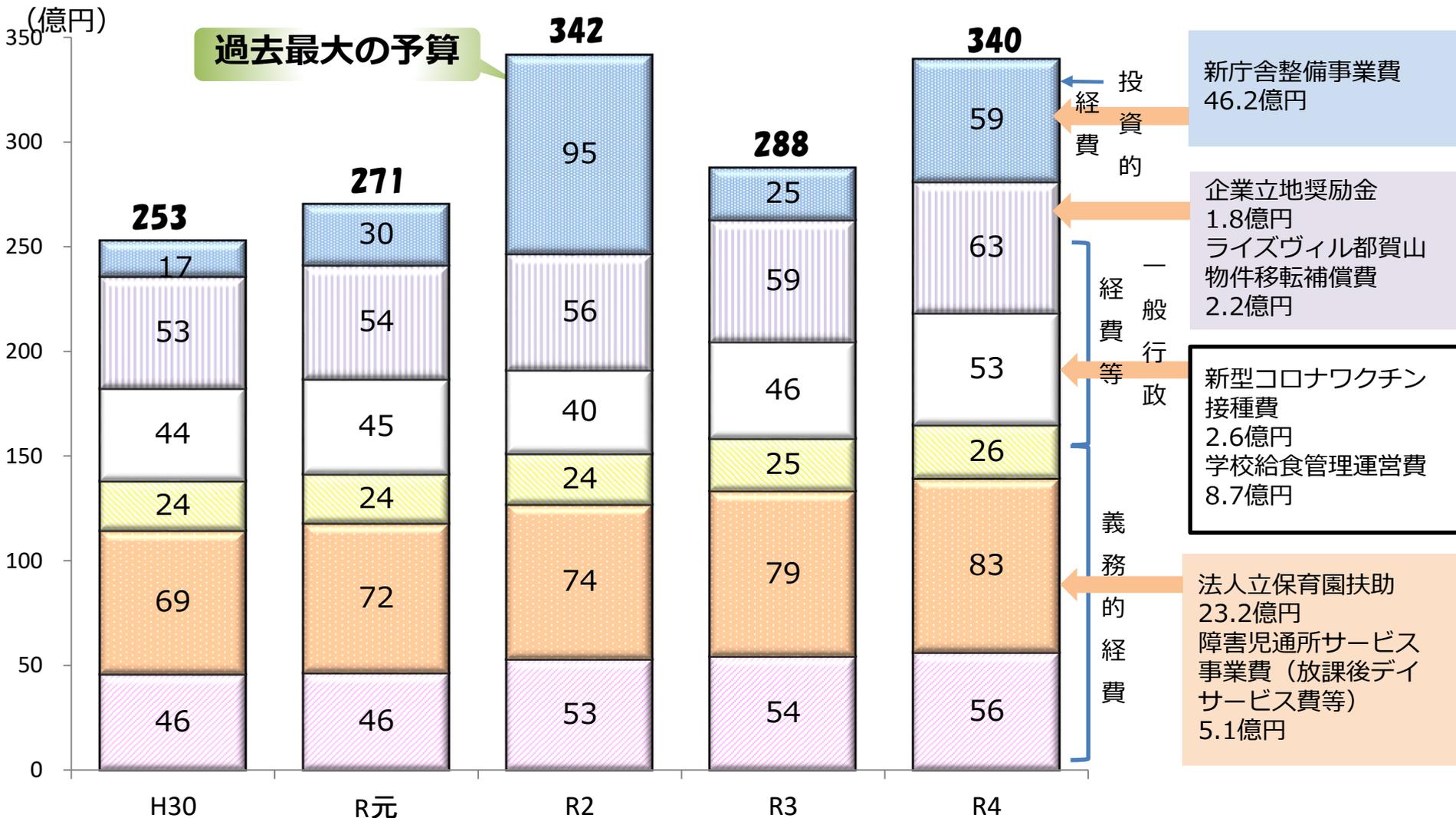
ポイント





# 当初予算額の推移

人件費 扶助費 公債費 物件費 その他 普通建設事業費



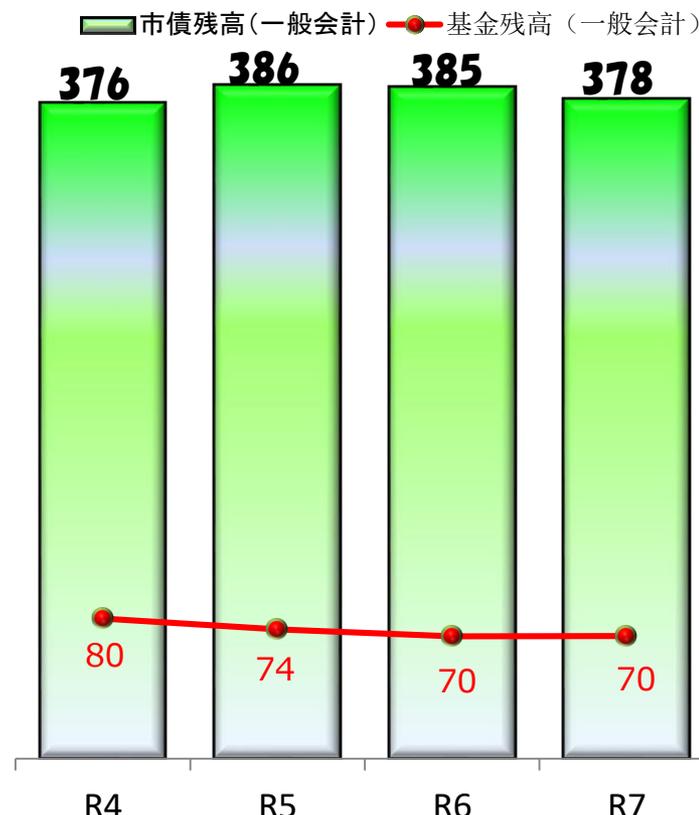
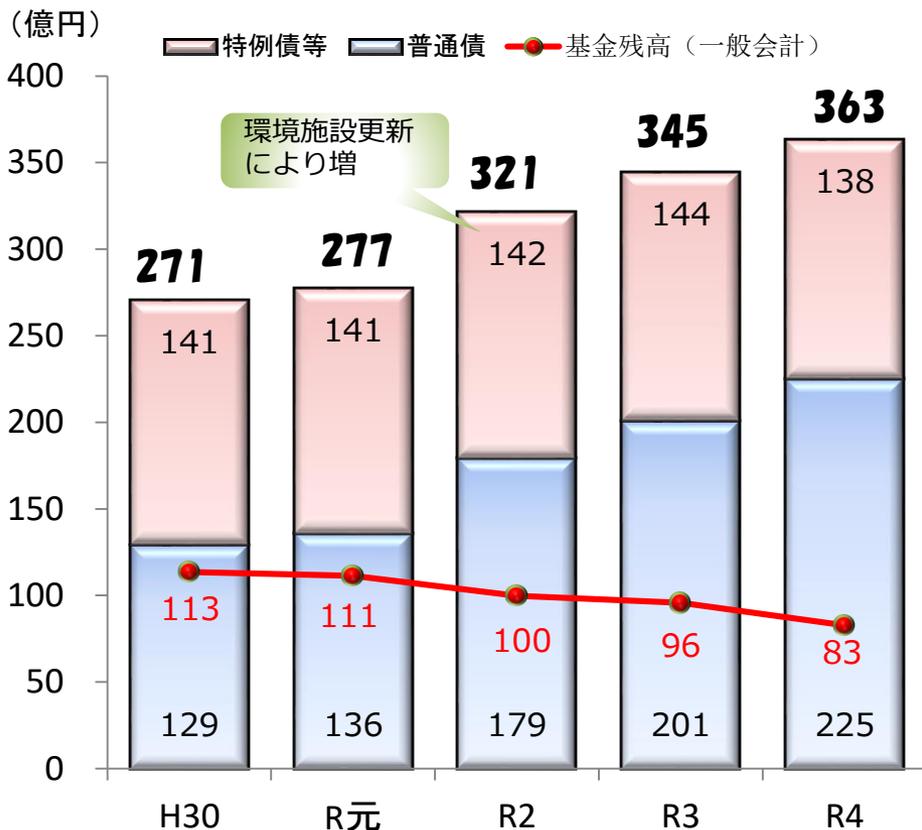


# 市債および基金残高の推移（一般会計）

○ 市債残高は、環境施設更新事業の影響により令和2年度で大きく増加し、新庁舎整備事業などにより今後も増加が見込まれます。

また、基金については、従前から計画的に積み立ててきた基金を新庁舎整備事業に充てることから、減少する見込みですが、第5次財政改革プログラムで定めている基金残高70億円の水準を下回らないよう適切な財政運営を実施していきます。

## 第5次財政改革プログラムでの推計



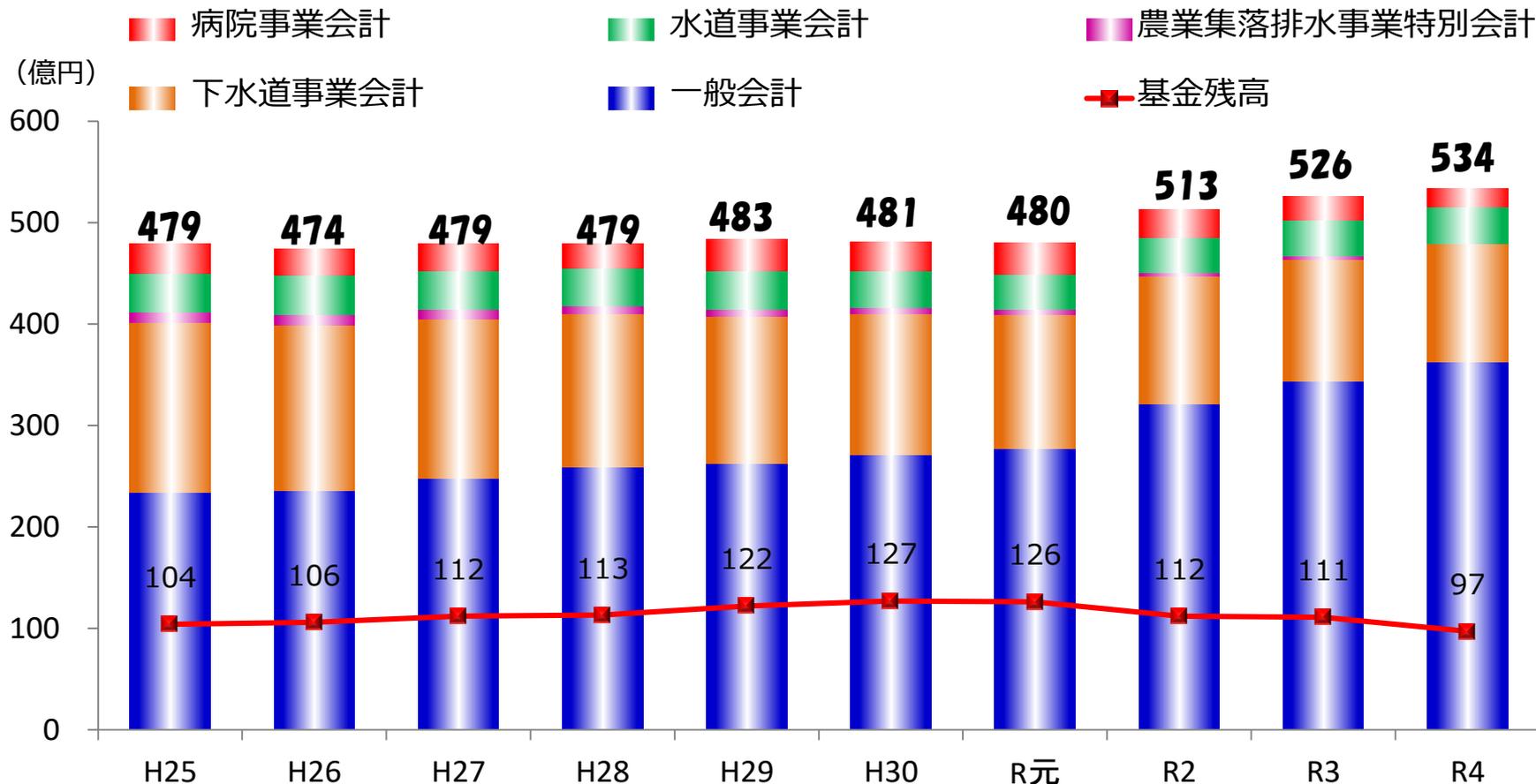
※R3年度は決算見込額。

※R4年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。



# 市債および基金残高の推移（全会計）

○ 水道・下水道・病院事業会計の市債残高は、過去に発行した市債の償還終了が多数あるため減少傾向が続いています。一般会計は、新庁舎整備に係る市債の発行をR4で予定しているため増加となっています。



※H25年度からR2年度までは決算額。R3年度は決算見込額。R4年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

## 新型コロナワクチン接種事業

コロナ対策

予算 322,180千円  
(国322,180千円)

新型コロナワクチン接種の実施により、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防し、まん延の防止を図ります。

### 追加接種（3回目接種）の実施

288,313千円

2回目接種を終えられた18歳以上の方に対し、追加接種を継続して実施していきます。なお、前倒し接種にも対応し、5月中に希望者への接種完了を目指します。

- 接種人数 約61,000人 ※R3年12月から実施中
- 使用ワクチン ファイザー社製ワクチンもしくは武田/モデルナ社製ワクチン
- 接種方式
  - ・市内医療機関での個別接種（ファイザー41機関、武田/モデルナ11機関）
  - ・集団接種（武田/モデルナのみ、会場は4月から守山市民体育館）

### 小児接種（5歳から11歳）の実施

33,867千円

小児（5歳から11歳）への1・2回目接種を実施します。

- 接種対象 約7,200人（接種日時点で5歳～11歳の方）※R4年3月から実施
- 使用ワクチン ファイザー社製ワクチン
- 接種方式 個別接種（市内医療機関）および集団接種により実施予定

感染症対策室 担当 川島 連絡先 077-598-5711

# 新型コロナウイルス感染症対策

コロナ対策

予算 532,303千円  
(ワクチン接種事業費含む)



## ◇感染拡大防止対応

主な事業	事業費
新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金 (介護・障害・保育事業所等)	34,232千円
守山市民ホール共用トイレ等改修工事	44,800千円
感染症対策消耗品購入費	2,680千円

## ◇経済活動回復対応

主な事業	事業費
3密を避けた市内飲食店利用推進事業	25,000千円
住宅・店舗・施設改修助成事業	24,000千円
守山市中小企業等デジタル化促進補助金	10,000千円

## ◇生活困窮者支援

主な事業	事業費
新型コロナウイルス感染症生活困窮者困窮者自立支援金事業	12,030千円

# 自治体DXの徹底的な推進とICT化の促進

令和5年9月新庁舎暫定供用開始を目途に  
令和4年度から順次DX推進に取り組みます。

守山市版DX推進方針に基づき、“新庁舎整備”とあわせてICTを活用した  
「窓口のスマート化」（待たない、書かない、行かない）を推進します。

「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」

## 庁内DX推進体制の整備・新庁舎整備

- ① CIO補佐・DX推進支援業務 9,500千円
  - ② DX推進の基礎となる新庁舎情報ネットワーク設計 1,019千円
- ※ 工事費は6月補正予定

## まちのDX

- ① 中小企業等デジタル化促進補助金 10,000千円

市内経済活性化のため、デジタル技術を活用した  
販路開拓や、事業効率化につながる取組等を補助

## 市民のDX

- ① 市民課窓口のスマート化 (先行実施) 2,733千円
- ② 行政手続きオンライン化の推進※ぴったりサービス 12,760千円
- ③ ホームページのリニューアル (R4～R5イニシャル) 25,000千円 (債務負担行為)



## 行政のDX

- ① 自治体情報システム標準化・共通化に向けた調査業務 2,700千円
- ② 業務プロセスの再構築、ペーパーレスの徹底
  - (1) 文書管理・電子決裁システムの導入 31,100千円
  - (2) 人材育成支援システムの導入 5,000千円
- ③ 各行政分野のデジタル化
  - (1) 乳幼児健康カードの電子化 8,549千円
  - (2) 外遊びマップ・市内ウォーキングマップの作成 450千円

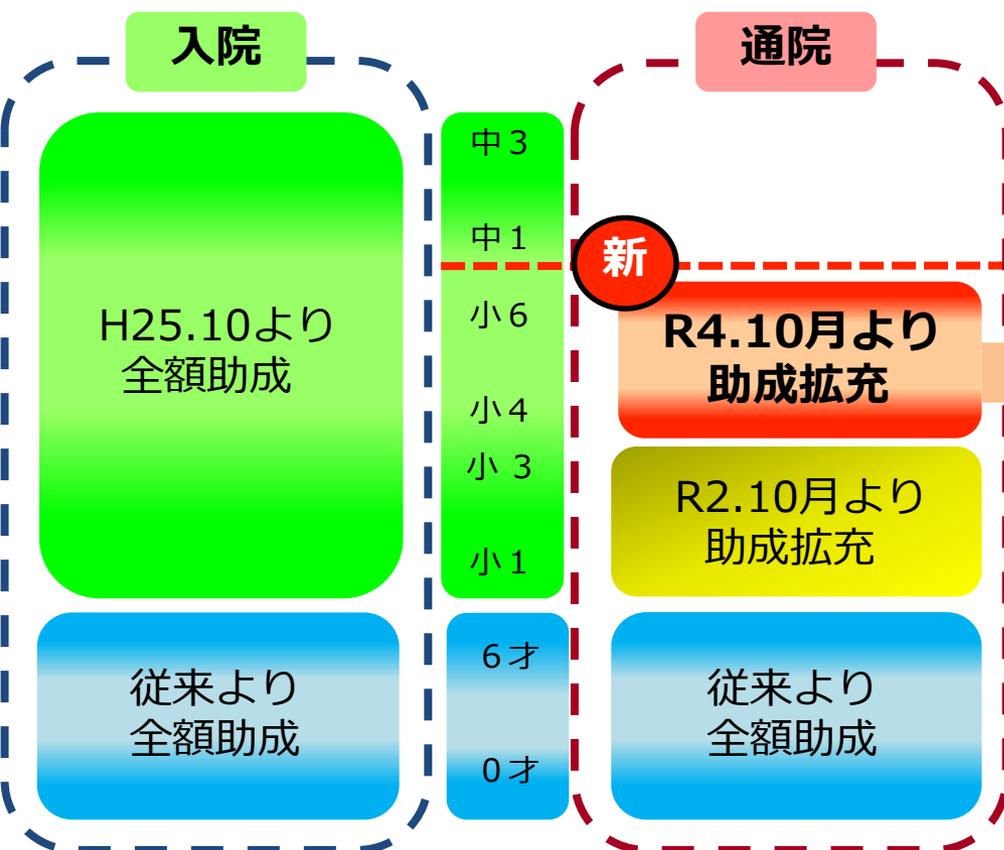


# ①子ども通院医療費助成事業

予算 23,704千円

子育て支援の更なる拡充に向け、令和4年10月から

**小学校4年生から6年生までの子どもの医療費助成を拡大**します。



令和4年10月受診分から、**小学校4年生から6年生までのお子さんの通院に係る医療費を助成**します！

※自己負担は、1医療機関あたり月額500円までとなります。（調剤は自己負担なし）



## ②待機児童対策等の継続

予算 251,498千円  
(国120,156千円、県32,813千円)

待機児童ゼロの継続に向け、保育士等の処遇改善を図り、保育人材の確保と定着化を推進します

### (1)保育士等の処遇改善

98,207千円

保育士や放課後児童支援員等を対象に収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための処遇改善を実施します。また、市独自に法人園への支援策の更なる拡充を実施します。

市独自

- 保育士等処遇改善加算事業の拡充 6,228千円
- 障害児保育事業費補助金の拡充 7,200千円
- 保育士等処遇改善臨時特例事業 71,315千円
- 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 13,464千円

### (2)保育人材の確保と定着化

3,273千円

- 保育士等への奨学金返還支援 600千円  
令和4年度から、市内保育所等に新たに就労した保育士等に奨学金の返還に係る費用の一部を補助します。
- 子育て支援員等の養成 2,673千円  
滋賀短期大学附属すみれ保育園に併設している保育人材育成施設において、保育人材（潜在保育士・子育て支援員など）の育成に取り組みます。



### (3)新たな保育園の開園

98,018千円

令和4年4月に吉身六丁目地先に（仮称）洛和みずのさと保育園を開園します。

#### 【施設概要】

- ・ 運営者 (福) 洛和福社会
- ・ 所在地 吉身六丁目地先
- ・ 定員 60名



### (4)放課後児童クラブの整備

52,000千円

玉津児童クラブ室の増築を行い、施設環境の充実を図ります。

#### 【施設概要】

- ・ 開設時期 令和5年4月（予定）
- ・ 所在地 矢島町316-1（現敷地内）
- ・ 定員 90名  
（現状：40名→90名）



### ③ 中学校給食の実施

予算 112,479千円

県内13市のうち全校「自校方式」実施は本市のみ

守山中学校、守山北中学校および明富中学校の3校は、令和4年度の2学期から、「自校方式」での給食を開始します。

小学校で培った自校給食の良さを活かし、調理場が身近にあることや調理員とのふれ合い等を通して、**温かい給食**や子どもの状況に沿った**きめ細やかな対応**等を継続します。

- ① アレルギー対応  
特定原材料等28品目の除去食対応が可能
- ② 調理従事者とのふれ合い  
調理風景を録画放送し、生徒へのメッセージ紹介等
- ③ 地場産物の積極的な提供  
「守山の日」「滋賀の日」を月1回実施し、  
守山矢島かぶら、モリヤマメロン、湖魚などの地場産物を給食で使用



### 給食は、食に関する指導の「生きた教材」

- 栄養バランスのとれた給食で健康の保持増進
- 望ましい食習慣を整える。
- 食文化の継承や地産地消など食育の増進



保健給食課 担当 木村 竹村 連絡先 077-582-1143

## ④ 教育支援体制の充実

予算 52,832千円  
(県7,724千円)

**【新】返還免除型奨学金制度**

9,150千円

経済的に困窮し、国の給付型奨学金を受けている方に、奨学金を上乗せし、学業やスポーツ等に力を発揮いただけるよう支援します。卒業後、守山市に居住することで、奨学金の返還を免除します。

**【新】子どもの健康度調査 (QTA30)**

972千円

子どもの心身の健康状態を調査し、結果の分析からリスクが高い生徒への個別支援に活用します。

**【拡】放課後学習支援事業**

1,304千円

学習につまずきを感じている小2から小6を対象に、放課後にE-ト学習を含めた学習支援を行います。

**【継】AIドリル (すらら) による学習支援**

20,732千円

コロナ対策

個別最適化された学びを充実するため、AIドリルを活用します。家庭学習の充実を図るとともに、臨時休校や学級閉鎖時に活用することで子どもの学ぶ機会を保障します。

**【継】教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) の配置**

11,238千円

コロナ対策

教員業務支援員 (スクール・サポート・スタッフ) を市内小中学校に配置し、学習プリント等の印刷、配布準備、新型コロナウイルス感染症対策等、教員の業務の円滑な実施に必要な支援を行います。

**【継】スクールソーシャルワーカーの配置**

9,048千円

不登校、虐待、いじめ等の課題解決に向け、関係機関連携を担うスクール・ソーシャル・ワーカーを配置し、子どもや家庭が抱える課題解決への体制を充実します。

**【継】メンタルヘルス予防教育**

388千円

児童・生徒が様々な困難や問題に直面した際に、その対処方法を身につけることができるよう、メンタルヘルス予防教育を実施します。

小学4年生：こころあつぷたいむ、中学1年生：SOSの出し方教育、中学2年生：命の大切さを学ぶ教育

## 1 (新規) 次期健康関連計画策定業務 3,179千円 すこやか生活課

現行の第2次健康もりやま21、第2次守山市食育推進計画、守山市自殺対策計画および守山市生涯歯科保健計画が、令和5年度に計画の終期を迎えることから、4計画を統合した次期計画の策定を行います。

## 2 (新規) ファミリーサポート事業送迎利用料補助金 280千円 子育て応援室

保護者の育児疲れなど児童の送り出しが一時的に困難な生活困窮世帯に、ファミリーサポート事業の利用料助成を行い、児童の登園等の支援を行います。

## 3 (新規) 河西小学校体育館長寿命化改良事業 5,000千円 教育総務課

建築から40年が経過し、老朽化が著しい河西小学校体育館について、長寿命化改修を実施するための実施設計業務を行います。

# ①重層的支援体制整備事業

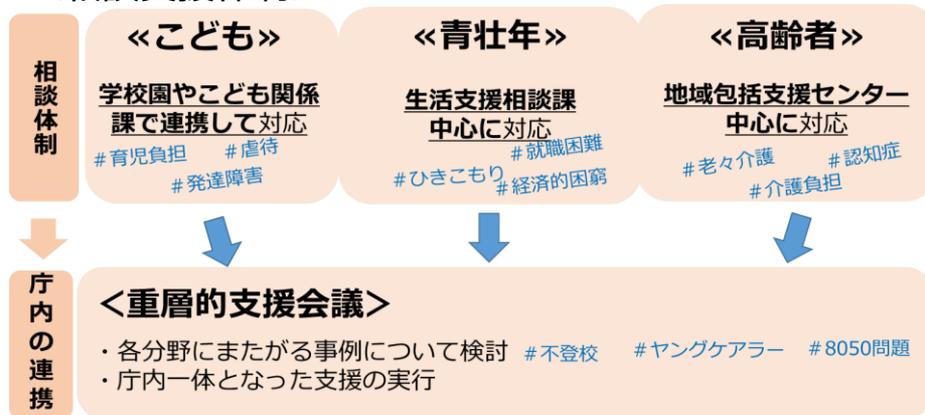
予算 185,439千円  
(国82,921千円、県34,449千円)

## I 家族まるごとの相談支援体制の充実

- (①包括的相談支援事業 ②多機関協働事業 ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)

家族まるごとの相談支援体制のもとで8050世帯、課題を抱える子育て世帯（不登校・ヤングケアラー等）の相談支援を強化します。

<相談支援体制>



## ● R4に向けての強化ポイント

- ・ 民生委員等地域との連携を進めます。
- ・ 課題を抱える子育て世帯の早期支援に向け、SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携を進めます。
- ・ 学区担当制を導入し、きめ細やかな相談支援を進めます。

(参考) R3実績

- ・ 相談実績：1,047件（延べ1,452件）※12月末現在
- ・ 重層的支援会議開催実績 7回23ケース

## II つながり・社会参加が生まれる場づくり

- (④参加支援事業、⑤地域づくり事業)

誰もがつながりや活躍の機会をもてる場を充実します。

### (1) 交流の場・居場所づくり

- ・ 地域ニーズの変化を踏まえた居場所づくりを進めます。（転入子育て世帯・独居高齢者の増加など）
- ・ 誰もが集える場づくりを進めます。

### (2) 一人ひとりに応じた就労の場づくり

- ・ 子育て中のお母さん、ひきこもり等一般就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受けながら働く場を創出します。
- ・ 商工観光課とともに、企業訪問を進め、仕事を創出します。



※上記の取組が進むように、活動団体に対する資金面や場所、人材等の確保にかかる相談等の強化に取り組みます。

I	生活支援相談課：担当 遠山	連絡先 077-582-1161
II	健康福祉政策課：担当 今野	連絡先 077-582-1123

## ① 包括的相談支援事業

(98,151千円)

- 家族まるごとの相談を受け付け、家族全体の課題を把握します。
- 8050世帯、課題を抱える子育て世帯（不登校・ヤングケアラー等）の相談支援を強化します（民生委員やSSWと連携し、対象家庭の早期発見など）



## ② 多機関協働事業

(147千円)

- 重層的支援会議を設置し、関係機関で連携して、家族全体の課題を整理し、支援方針等を決定します。



## ③ アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

(2,864千円)

- 支援機関につながっていない方（ひきこもりの方等）を様々な情報を元に早期に把握し、支援員等による家庭訪問等を通じて継続的な支援を行います。

## ④ 参加支援事業

(4,100千円)

- 外部支援団体と連携し、一人ひとりの希望や特性等に応じた社会参加に向けた支援を行います。

## ⑤ 地域づくり事業

(80,177千円)

- こども・障害・生活困窮・高齢の各分野において、地域の支え合いを促進する取組を支援します。（未就園児事業、高齢者いきいき活動推進補助金を活用した地域による生活支援など）

※事業全体に係る経費については、国や県から市の一般会計に一括で交付金が交付されるため、介護事業分について介護保険特別会計から一般会計に繰り入れを行います。

健康福祉政策課、生活支援相談課、すこやか生活課、長寿政策課、地域包括支援センター、障害福祉課、こども政策課等

## ②子宮頸がんワクチン接種積極的勧奨およびがん患者等への支援事業

予算 44,360千円 (県50千円)

### ①【拡】子宮頸がんワクチン接種事業 43,991千円



子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の再開により、国の指針を踏まえ、対象者（小6～高1女子）に個別勧奨を実施します。

あわせて、接種機会を逃した方（17歳～25歳の女性）への救済接種（キャッチアップ接種）も実施します。



### ②【新】骨髄移植後等の予防接種再接種費用助成事業269千円

小児血液がん等の患者を支援するため、骨髄移植等を受けた20歳未満の方のワクチン再接種費用を助成します。



### ③【新】がん患者のアピランス支援事業 100千円(県50千円)

抗がん剤等のがん治療による外見上の変化を補うために、補正用具等を購入した費用の一部を助成します。

対象者：がん治療を受けている方(過去に受けていた方)

経費：外見上の変化を補うために購入した補正用具等

補助：上限10千円



### ③ 介護施策の充実

予算 1,412千円  
(国62千円、県31千円)



認知症になっても安心して生活できる環境づくりを進めます

#### ① 【新】 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の実施 162千円

認知症の高齢者等が、偶然の事故により損害賠償責任を負った場合に、市が契約者として加入する個人賠償責任保険により損害を補償することで、本人や家族の不安や負担の軽減を図ります。

長寿政策課 担当 吉野 連絡先 077-584-5474

介護施設における職員不足の解消、介護職員の定着化を図ります

#### ② 【継】 介護職員就職支援事業補助金 650千円

資格を有する人が市内の介護施設へ新たに勤務する場合の補助金を交付します。

対象施設	認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設など			
対象資格	介護福祉士	社会福祉士	実務者研修修了者	初任者研修修了者
補助額	20万円	20万円	10万円	5万円

#### ③ 【新】 外国人介護人材確保支援事業補助金 600千円

所定の雇用制度において外国からの人材確保を行う法人に対し、法人が補助する家賃の一部を補助金として交付します。

対象施設	認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型介護老人福祉施設など
補助額	上限1万円/月（交付期間は最大12ヵ月）

介護保険課 担当 森藤、上島 連絡先 077-582-1127

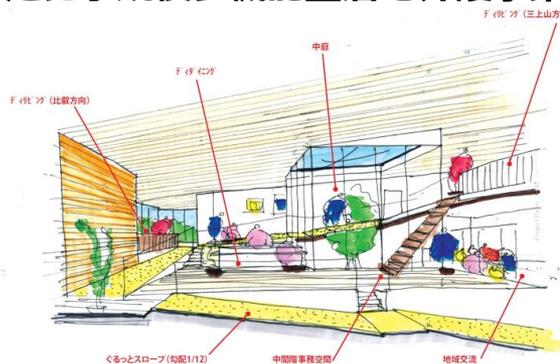
## ④ 介護施設の充実

予算 45,651千円  
(県41,151千円)

住み慣れた地域での生活を継続できるよう、  
第8期介護保険事業計画に基づいて施設の整備を進めます

### 小規模多機能型居宅介護事業所（新設）

老人憩いの家跡地に、地域交流スペースと併せて、  
新たに小規模多機能型居宅介護事業所を整備します。



施設内イメージ

開設地	: 石田町
登録定員	: 29人
開設時期	: 令和4年12月予定
設置・運営者	: 特定非営利活動法人ゆうらいふ
補助額	: 45,651千円

### 【参考】特別養護老人ホーム（新設）

施設入所者の待機解消のため、市内に新たに特別養護老人ホームを整備します。



外観イメージ

開設地	: 石田町
入所定員	: 80人
開設時期	: 令和5年4月予定
設置・運営者	: (福) あいの土山福祉会
※滋賀県の補助により整備予定	

## ⑤ 障害者支援の充実

予算 505,000千円  
(国252,500千円、県126,250千円)



### 1 【継】 障害児通所サービス事業の給付 505,000千円

児童福祉法に基づく放課後等デイサービスや児童発達支援などの障害児通所サービスの給付を行い、障害のある児童の身近な地域における支援の充実を図ります。

放課後等デイサービス事業 448,000千円 (ほか)



### 2 【新】 障害者グループホーム整備費補助金 令和3年度繰越 30,793千円

施設不足の解消に向けて、国県補助金の採択を受けたグループホームの整備について、更なる市の補助制度により手厚い支援を実施します。

(仮称) グループホームはぐくみ (グループホーム)  
所在地 十二里町地先  
運営主体 (福) はぐくみ会  
開所予定 令和4年6月 利用定員 13人

### (参考) その他の施設の整備状況

にじいろホーム  
(グループホーム)  
所在地 十二里町地先  
運営主体 (福) 白蓮  
開所 令和3年10月  
利用定員 10人



なないろ  
(生活介護事業所)  
所在地 洲本町地先  
運営主体 (福) にぎやか会  
開所予定 令和4年2月  
利用定員 20人



**1 (新規) 第9期高齢者福祉計画・介護保険事業 3,800千円 長寿政策課**  
**計画策定事業 (介護会計)**

地域包括ケアシステムの構築を目指し、アンケート調査等による課題抽出やサービス量の推計等を実施し、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）の策定に取り組みます。

**2 (新規) 地域医療介護マップ (介護会計) 369千円 在宅医療・介護連携サポートセンター**  
**(国31千円、県15千円)**

在宅療養を支援するため、在宅医療や介護サービスの情報をまとめた地域医療介護マップを最新の内容に更新を行うとともに、内容、掲載方法やサイズを変更するなど、さらに利用しやすいように改訂を行います。

# ① ふるさと納税を活用した豊かな市民活動応援事業

予算 3,070千円

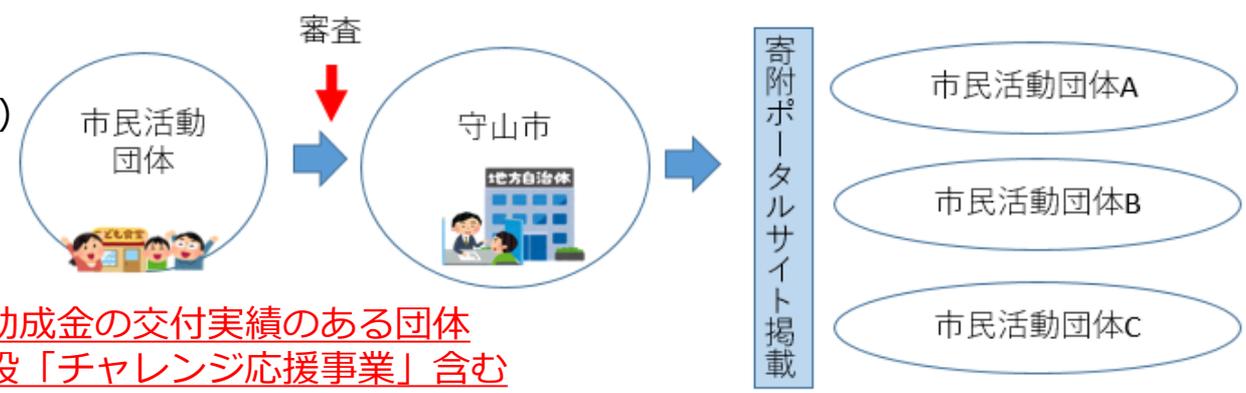
## (1) 【新】豊かな市民活動のまち応援事業〔市民活動団体指定〕の創設

地域活性化、地域課題の解決を目的に市民活動団体が自主的・継続的に取り組む事業への支援を拡充するため、ふるさと納税を活用し、市民活動団体を応援する仕組みを創設します。

### 【事業スケジュール】

- R 4年 4月 団体募集
- 7月 審査会にて選定
- 8月 団体認定（3年間）
- 9月 寄附受付を開始
- R 5年 4月 補助金交付

ふるさと納税活用団体の認定



### 【対象団体】

市民提案型まちづくり支援事業助成金の交付実績のある団体（令和4年度申請を含む）※新設「チャレンジ応援事業」含む

## (2) 市民提案型まちづくり支援事業助成金の拡充

新たに取り組もうとする団体や新たな事業への挑戦を応援するため、手続きを簡略化した

### チャレンジ応援事業を新設



【ママバスポートもりやま】 【NPO法人 きょうどう守山(なかす AS ONE)】

助成メニュー	助成限度額 助成率	審査方法	交付条件
【新】チャレンジ応援事業	上限 3万円 10/10	書類審査のみ	同一事業 3回まで (同一団体でも新事業は申請可)

企画政策課	担当	西村	連絡先	077-582-1162
市民協働課	担当	福造	連絡先	077-582-1149

## ②文化・スポーツの推進

3月補正を含む

予算 837,964千円  
(国244,404千円、県792千円)

### レッツスポーツ！

○「誰もが」「どこでも」「いつまでも」運動やスポーツに親しむことができる『健康元気なまち』を目指します。

- 【新】外遊びマップの作成 95千円
- 【新】ウォーキングマップの作成 350千円
- 【拡】総合型地域スポーツクラブ事業費補助金 350千円  
※新たな事業等を実施した場合に1団体25千円加算
- 【拡】自転車購入補助金 3,000千円  
※シニア向け自転車の対象者拡大(65才→60才以上)とシティサイクルの追加



○ R7年度開催する国スポ・障スポ大会に向けた準備を進めます。

- 【新】トップアスリートによる選手育成 690千円
- 【新】ソフトボール場改修設計 5,000千円

スポーツ振興課 担当 灘野 連絡先 077-582-1169

### 【継】伊勢遺跡史跡公園の建築工事

○伊勢遺跡史跡公園の整備については令和2年度から造成工事等に着手しています。令和4年度から遺構展示施設や管理棟などの建築工事を行います。

・遺構展示施設や管理棟などの建築工事等

- ・R4.3月補正 264,000千円
- ・R4当初予算 90,534千円



文化財保護課 担当 寺西 連絡先 077-582-1156

### 読書日本一のまち 守山へ

○北部地域の市民の読書環境の充実のため、速野会館を増築し、図書機能を整備します。

- 【新】建築工事費等 433,200千円 (R4.3月補正)
- 【新】北部図書資料の購入等 40,745千円 (R4.当初予算)



図書館 担当 佐藤 連絡先 077-583-1639

### ③ 環境学習都市宣言の具現化と もりやまエコパークの充実

予算 16,624千円

#### 環境学習都市推進事業

8,806千円

もりやまエコパーク交流拠点施設を環境学習の拠点として、年間を通じた環境講座や工作室での親と子のものづくり教室などを実施します。

また、河川ごみ・湖底ごみの実態、ほたるの生息環境や地球温暖化対策のテーマに加え、琵琶湖や野洲川の自然環境を活かした川遊び体験や野鳥観察のフィールドワークを通じたテーマ別の環境学習を実施します。



環境学習、フィールドワークの様子

環境政策課 担当 邨田 連絡先 077-584-4691

#### もりやまエコパークグラウンドゴルフ場等管理事業

7,818千円

#### <R4年4月オープン>

- ① グラウンド・ゴルフ場 (7,200㎡)  
8コース×2か所
- ② バラ園 (3,600㎡)  
約1,000本のバラを植栽。バラサポーターを集い、市民の皆様とバラを育てます。
- ③ 遊びの広場 (4,000㎡)  
インクルーシブ遊具を設置し、誰もが楽しめる公園にします。



ごみ減量推進課 担当 平 連絡先 077-584-4692

## ④ 地域交通の充実

予算31,540千円  
(国14,465千円)

### ① 【拡】「もーりーカー」の制度見直し 17,400千円

平成24年度から運行しているデマンド乗合タクシー「もーりーカー」について、利便性の向上を図り便利で使い勝手のよい交通手段となるよう制度の見直しを行います。

#### 基本的な制度

- **運行日および運行時間**  
年未年始を除く全日 8時～17時
- **利用料金** 1人1乗車 300円
- **乗降場所** 342箇所
- **目的地** 市民病院、モール、市役所等、計37箇所
- **対象者** ・75歳以上の方  
・満65歳以上で運転免許証もしくは  
自家用車を所持していない方 など

#### 拡充ポイント (R4.4.1～)

- ◆ 乗降場所の追加 (市内10カ所)
- ◆ 目的地間の移動を可能に
- ◆ 介助者の同乗を可能に
- ◆ 乗降場所の学区制の撤廃 など



【実績】  
※12月末時点対比  
  
R2年度 4,971件  
R3年度 8,030件

### ② 【継】スーパー学割バス定期券事業 11,530千円

経済的負担の軽減とバス利用促進等を目的に、2段階に料金設定した定期券の販売を実施します。

- **対象者** 市内在住の学生の方
- **発売金額** 区間運賃300円以下の場合  
1ヶ月 6,000円  
区間運賃310円以上の場合  
1ヵ月 9,000円
- **適用区間** 守山市内を走る定期路線

【実績】  
※12月末時点対比  
  
R2年度 2,407月分  
R3年度 3,083月分

### ③ 【継】高齢者おでかけパス事業 2,610千円

高齢者向けのバスフリーパス券を販売することにより、移動の促進による健康づくりや生きがいづくりに取り組みます。

- **対象者** 市内在住の65歳以上の方
- **発売金額** 2,000円
- **適用区間** 守山市内を走る定期路線(市内のみ)

【実績】  
※12月末時点対比  
  
R2年度 1,664月分  
R3年度 1,627月分

## ⑤ 起業・創業支援事業（地方創生）

予算 5,000千円  
（国2,500千円）

新たな起業や仕事の創出、企業の誘致など地域における雇用の創出や地域活性化に向け、第2期地方創生総合戦略（期間：令和3年度から令和5年度）に「起業・創業の支援」を位置づける中、民主導の取組を支援するとともに、市を挙げた起業支援の機運醸成と体制整備、また若い世代の人材育成を通して、官民連携により、市内外から起業家の集まるまちを目指します。

キーワード：「起業家の集まるまち守山」

### 1 民主導の取組の積極的な支援・連携

#### 起業家の集まるまち推進事業 2,000千円

市内外の起業家や起業支援機関のほか、市外や都市部の起業家らと連携を促進し、ICTを活用した起業家間のネットワーク構築と交流イベントの実施、また「起業家の集まるまち守山」の認知向上に向けたWEB、SNSによる情報発信に取り組みます。

### 2 地域をあげた支援体制の確立

#### 地域内の支援機関ネットワークづくり事業 1,000千円

行政や市内金融機関らで構成する「しごとはじめ支援協議会」、土業や県・国機関と連携して地域を挙げた起業創業の支援体制の構築に向け、意見交換会、ワークショップを実施します。

※商工会議所における創業支援の取組とも連携を図ります。

### 3 将来を支える若い世代の育成

#### 若い世代の起業家教育プログラム支援事業 2,000千円

県内在住・在学の中学生、高校生を対象に、守山市を舞台として社会課題解決をテーマとしたビジネスプランの創出、発表までを行う起業体験プログラムを実施します。

※市教委、市内小中学校と連携した起業家等による職業講話も並行して取組予定

地域振興課 担当 杉本 連絡先 077-582-1165



## ⑦ 市内産業への支援事業

コロナ対策

予算 69,860千円  
(国69,860千円)



新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内事業者を支援し、市内経済活性化を図ります。

### 【新】 守山市中小企業等デジタル化促進補助金

デジタル技術を活用した販路開拓や事業の効率化など前向きな取り組みを支援し、市内中小企業のデジタル化を促進します。

補助率/上限額

1 / 2 上限20万円

補助対象経費

#### 事業者のデジタル化への取組み費用

ソフト費用だけでなく、機器購入費等のハード面への支援（50%以内）も行います  
例）HP作成、WEB広告、キャッシュレス導入等



ECサイト出展費



ソフトウェア導入費

### 【継】 引き続き支援を行う事業

#### ① 資金繰り支援

中小企業支援信用保証料助成事業

セーフティネット  
利子補給金

#### ② 消費喚起支援策

3密を避けた市内飲食店利用推進事業

タクシーによる守山グルメ配送事業

住宅・店舗・施設改修助成事業

#### ③ まちのにぎわい創出への支援

つなぐ守山産業振興イベント支援事業

<b>1 (新規) 豊かな田園都市事業</b>	<b>8,163千円</b>	<b>企画政策課 商工観光課 学校教育課</b>
-------------------------	----------------	----------------------------------

市制施行50周年を契機とした「豊かな田園都市」の実現に向けた市民の文化振興を図ります。

- ① 中高生サミット (市内在住・在学の中高生と市議会議員との意見交換会)
- ② びわ湖吹奏楽フェスタ (市民ホールにてステージマーチング・コンサート)
- ③ 花いっぱいプロジェクト (市内園児・児童・生徒等へひまわりの種を配布)
- ④ みんなで踊ろう♪守山音頭 (「もりやま夏まつり」にて実施)
- ⑤ 日本文化次世代継承・育成事業 (市内4中学校2年生を対象に、茶道の体験を実施)

<b>2 (拡充) 有害鳥獣対策事業</b>	<b>1,959千円</b>	<b>農政課 環境政策課</b>
------------------------	----------------	----------------------

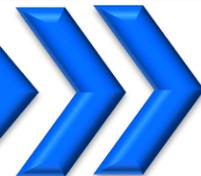
農産物に影響を及ぼすカラス等の有害鳥獣の駆除を委託し、農産物の保全を行います。また、サギによる糞・騒音被害に対処するため、試験的にドローンを活用した追い払い対策を実施するとともに、引き続き、アライグマ等の特定外来生物の駆除対策を図ります。

<b>3 (継続) 中山道守山宿街なみ修景補助金</b>	<b>3,000千円 (国1,500千円)</b>	<b>都市計画 ・交通政策課</b>
------------------------------	-------------------------------	------------------------

中山道守山宿の街なみ景観づくりに係る修景整備に補助を行い、街なみの形成を推進します。

## ① 防災体制の充実強化

予算 83,453千円  
(県682千円)



## ①【拡】消防団員の報酬改定



地域の消防防災体制の中核的役割を担う消防団員の処遇改善を図るため、報酬の改定を行います。

年額報酬：団長～班長5千円増額、団員8千円増額

出勤報酬：災害、警戒、訓練などの出勤ごとに支給

時間単価1千円

29,773千円

## ②【拡】自治会防災施設・整備費等補助金の拡充

初期消火の重要性に鑑み、自治会が整備される消火栓関連器具類の購入に係る補助率を引き上げます。（1/3 → 1/2）

5,000千円

## ③【新】北消防署出張所の建替

第11次消防計画（湖南広域消防局）に基づき、令和6年度の竣工に向け、老朽化が進んでいる北消防署出張所の移転新築を行います。

令和4年度：建築設計（湖南広域行政組合からの委託事業）など

48,680千円



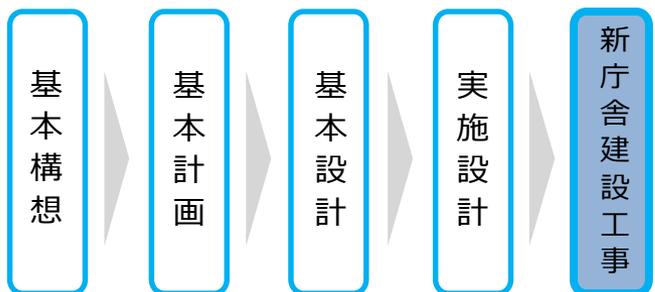
危機管理課 担当 岡田・徳田 連絡先 077-582-1119

## ②新庁舎整備事業

予算 4,624,759千円  
(国10,343千円、県10,000千円)



令和3年12月に取りまとめた実施設計を基に、令和4年1月14日から新庁舎『つなぐ、守の舎』の本体工事に着手しています。災害時には中枢拠点として市民の安全を守り抜く庁舎であると同時に、平常時にもすべての世代の皆様へ安心を提供する庁舎とすべく、引き続き工事を進め、令和5年9月の新庁舎暫定供用を目指します。



新庁舎完成・供用開始



**総事業費 約79億円**

～令和4年度の主な事業～

新庁舎整備DB事業 4,573,537千円  
DB事業施工監理業務 19,800千円  
デザイン監修等業務 8,800千円

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
業者公募	➡				
実施設計		➡			
建設工事			★R4.1 本体工事着工 ★R5.9 暫定供用 R7.3 本供用★		

施設整備課(担当:姫野)、庁舎整備推進室(担当:田中) 連絡先 077-584-5926

## 柱④ コロナへの万全な対応と信頼される市政運営

### 1 (新規) 道路照明灯LED化事業 総額24,500千円 (債務負担行為) 道路河川課

市が管轄する道路照明灯のLED化および維持管理について、リースに切り替えることで、経費の平準化を図ります。

### 2 (新規) すこやかセンター改修事業 75,600千円 すこやか生活課

今後の大規模改修に向けた実施設計を行うとともに、経年劣化に伴う屋上防水工事を実施することにより、すこやかセンターの長寿命化に向けた取組を進めます。

### 3 (新規) 立入水源地耐震診断業務 (水道会計) 13,000千円 施設工務課

水道事業において重要な施設である立入水源地の耐震化事業について検討を行うため、耐震診断を実施します。